

レディ・ガガ：魂をイルミナティ暗黒勢力に売ったことを後悔

生涯の初めに、自分の身体に「暗黒の霊的実体を招き入れた」と告白

【訳者注】魂を売るとはどういうことか、その実験をした人の貴重な体験談である。イエスが悪魔から契約を結ぼうと持ち掛けられる場面——「オレに跪けば、ほしいものは何でもやろう」——によく似ている。結果は正反対だったが。最後まで読むと、いま彼女は、過去の体験を正直に語り、将来の自分に起こることを報告することで、人のために尽くそうとしていることがわかる。(私のように) レディ・ガガなどを馬鹿にしていた人は、目を開かれるだろう。

Jay Greenberg, www.neonnettle.com

September 23, 2017



ポップスターのレディ・ガガは、イルミナティのメンバーだったことを、初めて公然と告白し、この秘密結社に加わったことを後悔していると言った。

<http://www.neonnettle.com/tags/lady-gaga>

<http://www.neonnettle.com/tags/illuminati>

苦痛を伴う線維筋痛症候群（FMS）に苦しむガガは、自分の長期の病気は、彼女の芸能生活の初期に、「イルミナティに魂を売り渡し」、体の中で「暗黒の勢力」が力を発揮するのに任せた結果だと言うと言った。

彼女が正直にこの話をしたのは、やがて出る Netflix の *Gaga: Five Foot Two* という、悩みをもつこのスターのありのままの姿を描いた、ドキュメンタリー映画の中である。

<https://www.netflix.com/title/80196586>

しかし、その最後のカットは、リハーサル、スタジオ・セッション、公的な出演、私的な夜中の会話、診療の予約、多くの泣きくずれる現場など、日常生活を撮影したもののモニター・ジュになっている。

制作スタッフによると、インタビュー場面の多くは、「上からの命令」のために、“カッティング・ルーム・フロア”の状態におかれた。

編集スタッフは、最終的な編集からカットされた、いくつかの、より面白い場面の説明をしながら、こんな話を明かした——ガガは、あるカトリック僧侶に面会し、エクソシズム（悪魔祓い）を受ける相談をした。それは、彼女の芸能生活の初めに、「サタン儀礼」の間に自分の身体の中に引き入れた「暗い霊的実体」を追い出すためだった。

彼女は、いかに自分が最初、「自分の魂を寄付する」ことによって、イルミナティに導き入れられたかを話した。それは彼女の言うところによると、2006年、あるお笑いショーに出演した後、ニューヨークの下町のイーストサイドの、あるクラブで起こったことだった。

ガガはこの体験を、「非常に現実的で体感的なもので、比喩的な類のものでは全くなかった」と説明している。

「私は舞台から降りたところでした。それはうまくいったショーで、私は観客から受けた愛と喝采で、ハイになっていました。

「私は外に出てタバコに火をつけながら、もう少しコカインがほしいと考えていました。

「どうしても、もっと欲しかった。あらゆるものをもっと欲しかった。私はただ、気分がよければ何でもよかったです。

「するとある男、スーツを着た、奇妙に年齢のない男が、私に話しかけてきたのです。

「彼は壁にもたれてタバコを吸っていました。そして私にこう言いました——〈あなたは必要なものは持っていると思うが、それが欲しいのか?〉

「私は〈それ〉とは何かと聞きました。彼は私を襲ってくるのかと思いました。

「しかし彼は微笑して言いました、〈すべてだ、成功、名声、富、権力。あなたはそのすべてが欲しいのか?〉

「私は不思議に思って彼を見つめました。彼が何者かわからなかった。

「すると彼はただ立って、私の昔の持ち歌の一つを歌いました。

「それは、この世のものでない感じでした。

「私は彼が、とても深い海の底からさらい出された黒い宝石であるように、見つめていました。

「私はしゃがんでひざまずき、誰を称えるべきかを彼に訊ねました。

「私は彼の目をまともに見て、すべてが欲しいと言いました。

「私は彼に、何でもする、と言いました。」

ガガは、“my illuminated prince”（イルミナティの知恵ある君主）と彼女が呼ぶこの男に会う前は、芸能界であまりうまくいかず、知名度は低く、ほとんど怪しげなバーや、お笑い劇場や、深夜レビューなどに出演していた。

ガガは、曲を創作するとか、自分のかつて夢見たあらゆることを成し遂げることができるようになった。ただ、ある一つのもの、彼女の“魂”と引き換えにだった。

その夜、ニューヨーク市の Mercury Lounge の外で、ガガは、このプリンスと「取引を結び」、それ以後は「成功なんて簡単」であることがわかった。

ガガは自分の魂と引き換えに、音楽を創ることができ、それによって、ほとんどの権威ある協力者、プロデューサー、プロモーターの間で有名になり、業界はこの未知のクラブ・シン

ガーと組もうと必死だった。

関連資料：「レディ・ガガのサタンのなスーパーボウルの演技は、不健全きわまると評価」

<http://www.neonnettl.es.com/videos/583-lady-gaga-s-satanic-super-bowl-performance-exposed-as-sickest-ever>

一年たたぬうちに彼女は、この地上で最も売れるアーティストの一人になった。

「彼の約束は、あっというまに実現しました。」

「最初は、私たちはよいチームを組んだと、私は思っていました。しかしそれは長く続かず、私は苦しみ始めました。」

ガガは、彼女の内部で、互いに勝とうとする2つの力と、何年も戦ってきた。そしてこのドキュメンタリーの中では、彼女はしばしば自分自身と戦っている。

一方の側は舞台に立とうとし、他方は「暗黒の勢力」と戦っているように見える。

ガガは、線維筋痛症という慢性の痛みを伴う肉体の病に、何年も苦しんできた。これは、イルミナティの支配するレコード産業から抜け出し、「暗黒のプリンス」との契約を絶とうとする彼女の戦いの、肉体上のあらわれである。

「彼らはあなたに、特別の権力、うわべの美しさ、才能、それに富を、しばらくの間は与えるかもしれませんが。しかしそれは長続きしないのです」と、ガガは言った。

「これが、暗黒の芸術に手を出す多くの人々が、これほど不幸な理由です。彼らは明けの明星のように、いつとき明るく輝いて、最後には自殺するか、それとも麻薬の乱用によって肉体を破壊するのです。」

レディ・ガガは最近、彼女の **Joanne World Tour** の、ヨーロッパの部を再検討していると通告し、「自分の演技能力」に影響を与える「激しい痛み」に言及している。

彼女の公的な「Instagram」ページには、十字架を手に祈っている写真が出ているが、そこで彼女は、自分の肉体的・精神的健康状態については「常に正直だった」こと、「何年も前から、その底まで突き詰めたいと思っていた」ことを書いている。

<https://www.instagram.com/p/BZLFlzBAO6N/>

「体がもっと強くなり、自信がついたら、私は自分の物語をもっと深く語り、これを強く維持して、自分の意識を高めるだけでなく、私のように苦しむ他の人たちのために、研究を広げ、役に立つことができるようになりたい」と書いている。